10年後の自分と、京都のまちの、
ミライとモンダイを考える。

京都市基本計画審議会

U35のメンバーが市民にわかりやすくレポートします！

傍聴記 vol.5

共汗部会　第1回活性化部会

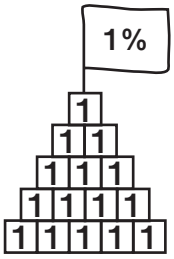
（産業・観光・行政経営分野）
主な議事：共汗部会の役割や次期京都市基本計画の構成等について意見交換
開催日：平成21年11月6日（金）
会場：キャンパスプラザ京都

レポーター　簡（かん） 吟馨（いんしん）さん

2005年台湾師範大学文学部地理学科卒業。
2002～2003年立命館大学交換留学。
2005～2007年台湾NEC株式会社。
2008年京都大学経済学部研究生。
2009年京都大学経済学研究科

会議のポイント

POINT 1.
私も賛成！市民1％アクション



印象的だった発言は、若者会議議長でもある松山委員が提案した“いきなり25％と掲げるのではなく、例えば1％アクションとして、必ず一人が1日一つのゴミを拾う、たばこを1本やめるなど、それぞれができる範囲で目標を定め、確実に実行することの積み重ねが将来に繋がる”ということでした。京都に住む人々が無理のない範囲で、取り組むことができる計画を定めるほうがいいと思います。

POINT 2.
市民と共汗・共感できる計画づくり

せっかく各分野の優秀な人材が集まり、京都市のためにすばらしい提案を作るのです。市民達にとって、理解できない、共感できない計画であれば、効果は限られています。京都市基本計画は京都市役所と市民と一緒に推し進めるべきです。そのために、市民の意見を聞きながら計画づくりを進め、出来上がった計画も市民にPRして、市民の共感を得るべきだと思います。

この会議を傍聴して、簡さんが思ったこと。

委員の皆さんは、京都出身の方ばかりではないようでしたが、京都のために貢献したいという強い思いをもって、議論されておられ、大変素晴らしいと思いました。皆さんが一生懸命にアイディアを出す姿は、自分にとっても刺激になりました。私も京都のために、何かしたいと思います。7年前に初めて日本へ来るまでは、京都のことを知りませんでした。ただ交換留学先が京都にあるという理由だけで、この地にやってきました。京都では日本の四季を感じることができ、日本文化を体験することができます。京都にきて本当によかったと思います。世界の人々に京都の美しさを伝えたいです。

私ならこうする！未来の京都に向けた簡さんの提案

毎年、多くの観光客が京都を訪れます。京都の美しさを知るために、一番いい方法は自転車を利用して、京都の町を観光することだと思います。現在、市内には自転車レンタルの店が多くありますが、観光客にとって不便なところもあります。まず、レンタルシステムです。借りた自転車は同じところで返却しなければなりません。観光客にとっては、このルールに縛られて、とても不自由になります。フランスのように、大規模な貸自転車事業を展開できると、観光客にとってとても魅力的だと思います。

U35については、こちらをご覧下さい。⇒　http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000071812.html

今年は10年に一度の、京都市の10年後を考える年です。
市政をよく知り、よく考え、利用し、参加し、仲良くなろう

DO YOU KYOTO?

発行：京都市　編集：未来の担い手・若者会議U35